

大台ヶ原の利用特性

○所在

- ・奈良県吉野郡上北山村

○アクセス条件

- ・利用者は乗用車、バス（奈良交通の定期便または観光バス）等で大台ヶ原ドライブウェイを經由してアクセスするが、大半は乗用車利用。
- ・ドライブウェイは4月下旬～11月下旬まで供用（冬季は積雪のため閉鎖）。
- ・所要時間は、乗用車で大阪市、奈良市から4時間前後、京都市から5時間前後。奈良交通のバスは近鉄大和上市駅から約2時間。

○利用施設

- ・集団施設地区：駐車場（約200台）、宿舎、休憩所、ビジターセンター、歩道等

○入込状況

- ・かつては地形的条件からほとんど人が立ち入ることはなかったが、昭和36年のドライブウェイ開通後は多くの観光客・登山者が来訪している。
- ・近年は年間20～30万人の入込者数を記録しているが、過去10年間でみると平成7年をピークに減少傾向にある。
- ・季節別にはシャクナゲ開花期、夏休み・盆休暇期、秋の紅葉期に入込みの集中がみられる。
- ・曜日別には土・日・祝日および盆に集中する。特に秋のピーク時には1日5,000人以上、稀に1万人以上の入込者数を記録することがある。
- ・大半が関西からの日帰り利用である。
- ・ピーク時には500～1,000台以上の車両の入込台数を記録することがある。
- ・駐車場の容量は約200台であり、駐車場の容量をオーバーした車が路肩に駐車する状況が年間40～50日（大半は土・日・祝日と盆前後）記録される。また、路肩駐車車両による渋滞の発生も見られる。
- ・百名山に代表される登山の対象としての側面と多くの団体客が訪れる観光地としての側面の二面性を有する。

○利用の集中がみられる地区

- ・利用者の大半は、比較的気軽に散策を楽しむことのできる東大台に集中する。
- ・最多散策ルートは、ビジターセンター～日出ヶ岳、日出ヶ岳～尾鷲辻～大蛇峠、尾鷲辻～ビジターセンターの散策ルートである。

○利用者のボランティア活動

- ・70～80名がボランティア登録。年間3～4回程度活動するパークボランティアが30名程度。半年間で述べ400名程度が活動。
- ・活動内容は観察会リーダー、ゴミの清掃、登山指導・歩道補修・植生復元作業の補助